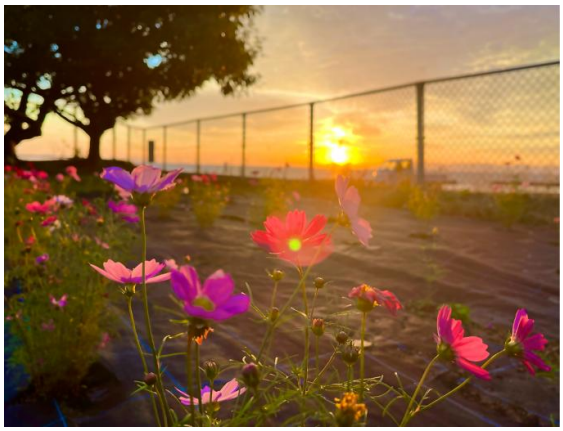
【学校だより】

はまなつめ

第14号

令和８年11月16日（月）
長崎市立川原小学校
校長　神　田　　学

『 一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 ～ 子どもも教師も輝く学校 ～ 』



肌寒い季節を迎えました。冬の到来が近づいていることを予感させる今日この頃です。11月12日（木）には、1～4年生が長崎市小学校音楽会「小音会」に出場しました。右の写真は、その日の朝のようすです。小音会での子どもたちの活躍を予想させる美しい朝日でした。

元気で明るい演奏と歌声で、まさに川原小学校の教育目標、会場のブリックホールに、川原小学校の子どもたち一人一人の笑顔が川原の海の朝日のように「まばゆく」輝き、子どもたちのすてきな笑顔があふれる小音会となりました。



学校サポーターの紹介



10月から週２回、学校サポーター（ボランティア）として来ていただいています。左の写真の方です。この方は、元教員で、初めての勤務校が川原小学校だったそうです。複式の学校での経験が10年あり、専門的に算数の指導をされた経験も豊富な方です。学校サポーターをお願いしましたところ、大好きな川原小、今年度（２月まで）限りであればということで引き受けていただきました。

現在、1･2年と3･4年の算数の授業のサポートをしていただいています。複式での授業ですので、大変心強い存在となっています。今後、子どもたちの学びがさらに深まることと思っております。

＜12月の行事予定＞
3日（水）授業参観・懇談会・学級レク
7日（月）委員会活動
9日（水）人権集会
10日（木）薬物乱用防止教室（5･6年）
18日（金）スクールカウンセラー来校
21日（月）「あきすての」読み語り
24日（火）２学期終業式・表彰伝達式

小学生による「まちづくり」アイデアコンテスト発表会



　これからのまちづくりを担っていく子どもたちに、自分たちもまちづくりの主役であるという意識（当事者意識）を育て、地域や社会をよくするために何をすべきかについて考え、積極的に社会に参画しようとする態度を養うことを目的とし、長崎市内の小学5・6年生を対象とした「まちづくり」アイデアコンテストが実施され、本校児童が「優秀賞」を受賞し、11月7日に長崎市役所において市長から表彰されました。（写真右）また、当日は、市長をはじめ、議員、教育長など多くの来賓、保護者の皆様の前で堂々とプレゼンテーションしました。以下は、その発表です。

私が提案するのは、
長崎よかとこ案内「子どもマイスター」です。

現在、長崎では、たくさんの大人の観光ガイドさんが活躍しています。
そこで、私たち小中学生もガイドになり、海外や県外から来た観光客に、長崎の魅力を直接伝える取組を考えました。

それでは、詳しく説明していきます。
「子どもマイスター」になるためには、まず、プロの観光ガイドさんから講習を受けます。
この講習では、観光客やお店の方との接し方や案内するときに気を付けること
などを学びます。

次に、自分の好きな観光スポットを一つ選び、詳しく調べます。
ガイドさんの話を聞いたり、実際にその場所を訪れたりすることで、自信をもって案内ができるようにします。

講習を終えると、「子どもマイスター」のバッジがもらえます。

そして、グラバー園や出島などを案内する「歴史グループ」と新地中華街やカステラのお店などを案内する「食べ物グループ」に分かれて活動し、観光客に長崎の魅力を伝えます。

また、現在、同じ被爆地である広島市と長崎の子どもたちで親善交歓会という取組が行われています。この親善交歓会に参加できるようにします。長崎の魅力だけでなく、平和の大切さも伝えられる「子どもマイスター」を目指します。

しかし、観光客に自分から声をかけるのは勇気がいります。積極的に参加をする人が少ないかもしれません。そこで、楽しく活動を続けられるように、案内を1回するごとにスタンプがもらえる仕組みにします。スタンプが3個たまると図書カード、5個たまると路面電車やバスの1日無料パスがもらえるようにします。このような仕組みがあれば、たくさんの仲間が楽しみながら参加するのではないかと思います。

これからの長崎をつくっていくのは私たち小中学生です。大好きな長崎の魅力と平和の大切さを、私たちの言葉で世界中に届けていきたいです。

